

第185回講演会・第136回研究会

主催 包装食品技術協会
共催 愛知県産業技術研究所
食品工業技術センター

ご案内

日時：平成24年2月16日(木) 13時10分～16時10分
場所：愛知県産業技術研究所食品工業技術センター 大研修室
名古屋市区新福寺町2-1-1

13:15～14:20

産官学連携の事業化：希少糖含有シロップの機能性

— 希少糖の抗肥満効果 —

松谷化学工業株式会社

研究所

主任研究員 飯田哲郎氏

自然界での存在量が少ない糖は希少糖（レアシュガー）と呼ばれ、その存在量に反して種類は非常に多く、約50種類（中でも六炭糖は約30種類）程度ある。これらの糖を酵素合成することに成功した香川大学の何森先生が生成経路の戦略図（イズモリング）としてまとめている。希少糖の中でも、D・プシコースの研究開発は最も進んでおり、食後血糖低下作用や抗肥満効果が報告されている。我々は、糖質中に数%程度のD・プシコースがあれば、内臓脂肪などの蓄積が抑制されることを明らかにし、5%程度のD・プシコースを含む異性化糖、“希少糖含有シロップ”を開発したので紹介する。

14:30～16:05

放射線・放射能の基礎と食品の安全性について

— 誤解をとき無用の不安を減らすために —

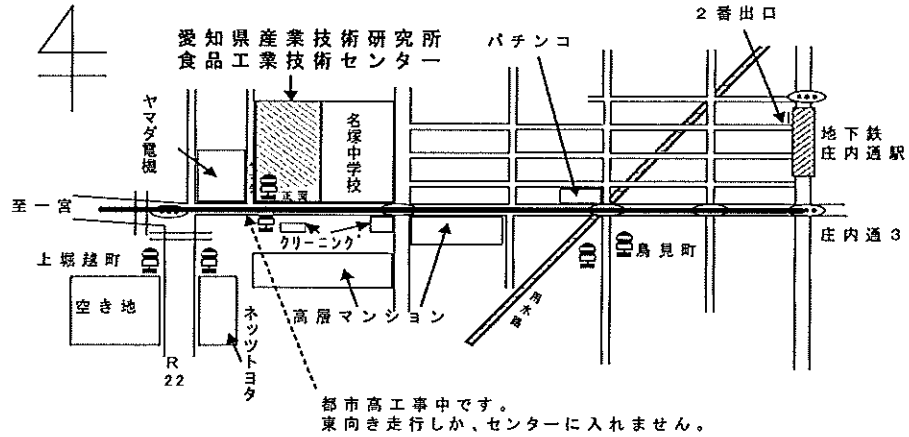
日本原子力研究開発機構 高崎研究所
量子ビーム応用研究部門研究主席（兼）
マイクロビーム細胞照射研究グループ
リーダー 小林泰彦氏

原子力災害の本当の恐ろしさは、放射線障害よりも「不安ストレス」と「避難災害」だった。根拠のない「安心」や無頓着では駄目。難しいけれど、冷静に、平常心で「正しく怖がる」ことが必要。見えない敵と戦うために、正確な知識と情報を味方につけて、誤解に基づく無用の不安や過剰な心配という「害」を減らそう！

- ・ 自然界の放射線、天然の放射性物質、被ばくと汚染、外部被ばくと内部被ばく
- ・ 放射線はどんなに微量でも有害か？ 原爆被爆者の疫学調査と「リスク概念」の誕生
- ・ チェルノブイリ事故の影響：20年後の結論と教訓
- ・ わずかなリスクの考え方：平常心と緊急時、「線量限度」の意味の違い
- ・ 食べて大丈夫？ 「暫定規制値」の元になった考え方と数値の意味
- ・ 放射線セシウム汚染食材の摂取による内部被ばく線量の計算
- ・ 放射線被ばくと食品中の発がん物質、どちらのリスクが高い？
- ・ リスクの科学は、他のリスクの存在を理解する
- ・ リスクの倫理は、リスクのトレードオフまで考える

定員：先着60名
 参加費：会員 無料(3名まで)、非会員 1名につき 5,000円
 申込先：包装食品技術協会 事務局：〒451-0083 名古屋市西区新福寺町2-1-1
 愛知県産業技術研究所 食品工業技術センター内
 TEL 052-521-9316 FAX 052-521-1323
 E-mail hs_techassoc@aioros.ocn.ne.jp

会場案内：



○ 交通案内

- ・地下鉄：
 - 名古屋駅、栄方面から地下鉄東山線「伏見」乗換え
 - 鶴舞線(犬山、上小田井方面行き)「庄内通」下車、2番出口 西へ徒歩 約12分
- ・市バス：
 - 名古屋駅方面から
 - 10番のりば名駅11号系統(名西橋経由循環名古屋駅行)「上堀越町」下車、徒歩約3分
 - 11番のりば名駅13号系統(中切町行き、上飯田町行き)「鳥見町」下車、徒歩約6分
 - 栄方面から「オアシス21」
 - 1番のりば栄25号系統(名塚中学行き、名西橋行き)「上堀越町」下車、徒歩3分
- ・タクシー：名古屋駅から約20分
- ・駐車場：51台

..... キリトリセン

包装食品技術協会 宛

FAX 052-521-1323

第185回講演会・第136回研究会 参加申込書

会社・団体名：
 所在地：
 連絡担当者： (氏名) (所属)
 (TEL) (FAX)

会員	非会員	参加者氏名	所属部署

* 平成24年2月10日(金)までにFAX、メールまたは郵送にてお送りください。